

2023年度多文化共生パートナー育成講座 「JICAで学ぶ多文化共生 マイクロアグレッションって何だろう？」 実施報告



概要

対象：ユース（学生、若手社会人）※第1回基調講演のみ、一般も対象、**今年度から高校生へも参加呼びかけ**

目的：無意識の差別・偏見（＝マイクロアグレッション）が多文化共生における諸問題の根本の問題となることを理解し、参加者が自分にできるアクションを起こしていくこと。

主催：名古屋NGOセンター、東海市民社会ネットワーク、JICA中部

後援：愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、愛知県国際交流協会、名古屋国際センター

協力：公益財団法人名古屋YWCA、特定非営利活動法人地域と協同の研究センター、中部サステナ政策塾、特定非営利活動法人日本ボリビア人協会

広報：チラシ（6,500部）、ポスター（30部）

愛知県公立高等学校長会理事会、なごや地球ひろば訪問プログラム参加高校、大学へ案内
主催、後援、協力団体でのウェブページ、メールマガジンへの掲載

実施方法：対面（第1回のみハイブリッド）

内容：第1回：基調講演＋ワークショップ（参加者：対面 21名、オンライン 19名）
マイクロアグレッションについて理解し、自己を振り返り、気づきのプロセスを持つ。
講師：金友子氏（立命館大学国際関係学部准教授）

第2回：現場訪問＋交流（参加者：21名）
海外ルーツの人たちの生活の場や学習支援の現場訪問し、「マイクロアグレッション」の背景について考える。

第3回：問題分析＋アクション発表会（参加者：20名）修了証書 19名
マイクロアグレッションについて、背後にある諸問題をワークショップを通して、自分でできるアクションを考える。
講師：北川知子氏（とんだばやし国際交流協会理事長）

アンケート

①-1：第1回アンケート（対面）

①-2：第1回アンケート
（オンライン）

②全3回終了後アンケート

①-1：第1回アンケート（対面） 回答：14名 （参加者：21名 回収率：66.6%）

基調講演満足度：4.57（5段階中）

ワークショップ満足度：4.29

講座をどこで知ったか：知人からの紹介が半数以上（コアメンバーからの声かけ）

①-2：第1回アンケート（オンライン） 回答：10名 （参加者：19名 回収率：52.6%）

基調講演満足度：4.50

意見・感想：・答えのない問題提起の講演だと感じる

・リアルなお話で理解が深まり、反省もできた

・人権を尊重されてない場面があることに、もっと気付けるようになりたい

②全3回終了後アンケート 回答：6名（参加者：20名 回収率：30%） **※参加者の内10名は
コアメンバー**

・講座全体満足度：4.50

・特に印象に残ったこと：保見団地のフィールドワーク、不公平な椅子取りゲーム

・友人にお勧めするか：6名全員が「はい」 ・実際に活動するか：6名全員が「はい」

【まとめ】

・参加者の満足度は高い（実施方法（全3回）、プログラム内容等含めて）

・ユースの参加者の半分以上がコアメンバー

→ 新規参加者の獲得に課題